



寿都町 病児保育室 **なないろだより**

NO.32 令和6年11月発行

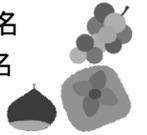
秋も深まり、朝晩はぐっと冷え込む時期になりましたね。10月は手足口病のお子さんのご利用が多くありました。気温が下がり空気が乾燥すると、ウイルスが増えやすくなります。なないろでも、小まめに換気をしながら、温度や湿度の調節を行い、お子さんが気持ちよく過ごせるような環境作りに努めていきたいと思っています。

また、インフルエンザの予防接種も始まっています。何か分からないことがあれば保育士や看護師に聞いて下さいね。



10月の利用状況

かぜ	7名
ヘルパンギーナ	9名
中耳炎	10名
手足口病	33名
溶連菌	1名



予防接種はなぜ必要？

予防接種について疑問に思ったことはありませんか？今回はワクチンについて詳しくご紹介したいと思います。



ワクチンとは、病原体(細菌やウイルス)の病原性や毒性を弱めたり無くしたりするものです。これを接種しておけば、体の中に免疫の記憶を残すことが可能となります。あらかじめ免疫の記憶をつけておくことで、いざ本当の病原体が体の中に入ってきた時に、すばやく免疫によって体が守られ、病気にかからずにすむ(なっても軽くすむ)という訳です。

自然に感染した方がいいのでは？

麻疹や水疱瘡などの感染力の強い感染症では、一度かかると一生続く免疫が出来ると言われています。そこで自然にかかってしまえば、その方がより自然でいいのでは？と考える方もいらっしゃるかと思います。しかし、感染症を発症することによって、まれに起こる色々な合併症(例えば、脳炎や肺炎)を起こす危険もあります。また、自分が病気にかかることにより、周りの人にその病気を広めてしまうこともあります。

したがって、合併症にかかるリスクと自然感染を避けることが出来るメリットを考えれば、ワクチンで予防できる病気は、ワクチン接種で予防するのが最善の方法と言えます。

同時接種は安全ですか？



同時接種が安全なことは、同時接種を昔から行っている海外の国々でも確認されています。現在、子どもに接種できるどのような組み合わせでも安全に接種できることが今までの研究で分かっています。また、複数のワクチンを接種してもその効果が落ちたり、強くなることはありません。

※副反応の無い薬(ワクチン)はありません。(普段飲んでいる風邪薬にも副反応はあります)予防接種の普及や公衆衛生の改善により感染症が減少してくるとワクチンによるメリットが見えにくくなる一方で、デメリットがクローズアップされやすくなります。ワクチンについて正しい知識を持ち、理解をすることが大切です。



保育の様子



緊急車両出動!!



楽しいね♡



お買い物に行くわよ~♪

お願い

なないろの開室時間は8時から17時30分までとなっています。8時前の入室はご遠慮下さい。また、お迎えは17時30分厳守です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。